

「スーパーシティ」構想について

平成30年10月10日

竹中 平蔵
原 英史

1、新たな都市設計の動き

各国で自動走行を中心に、A I・ビッグデータを活用した新たな都市設計の動き。

- ・中国では、都市の設計段階から自動走行のインフラを組み込む、新たな都市づくりの動き（アリババ本社の杭州市など）。
- ・グーグルはトロントで、街全体をグーグル化する都市開発を開始。

2、早急に検討すべき政策

- 自動走行やスマートシティを部分的に進めていくだけでなく、A I・ビッグデータを活用し、第四次産業革命を体現する最先端都市を先行実現する「スーパーシティ」構想を検討。

<イメージ>

- ・域内の交通：オンデマンド自動走行
- ・域内の支払い：キャッシュレス
- ・域内の行政手続：ワンスオンリー
- ・域内の医療：遠隔診療、医薬品配達
- ・域内の教育：遠隔教育
- ・域内のエネルギー：自立可能で最適な電力供給 など

- 日本企業、さらに世界中の企業が、最先端の実証をできる場を国内に設ける。

- 住民と競争力ある事業者の参画（データ活用の同意、キャッシュレス化などへの参画等）に基づき都市づくりを推進するため、国家戦略特区の枠組みの改良・強化を検討。

＝「ハイパー国家戦略特区」（仮称）